

備え

顔の見えるネットワーク構築を目指して

近年、特に昨年は大きな自然災害の多い年になりました。現在も被災地では復興に向けて厳しい努力を続けている方が多数おられます。被災地の復興を目指した支援も大切ですが、日頃からの「備え」が最大の減災であり、感染防御につながるものと考えます。これまでの被災地の状況のヒヤリング等から、その備えのネットワークが大きく、確かなものであることが重要と思われまます。

行政との連携、在宅との連携、他県との連携…をできるネットワークについてのワークショップです。災害関連、病院関連、在宅関連、行政関連、公衆衛生関連等、多くの方にご参加いただき、実働するネットワークについて、活発な意見交換をしたいと思ひます。多くの方のご参加をお待ちしております。

日 時：2019年3月2日(土) 9:20～12:30 (受付 9:00～)

場 所：久留米大学 医学部看護学科 A棟4階 講義室4 参加費：無料

【プログラム】

時間	テーマ	講師
9:20～9:30	開講式、オリエンテーション	
9:30～9:50	発災時公衆衛生関連課題	久留米大学医学部看護学科 教授 三橋 睦子
9:50～10:10	日頃のつながりの大切さ - 熊本地震の子育て支援施設の事例から -	久留米大学医学部看護学科 教授 重松 由佳子
10:10～11:10	北部九州豪雨からの報告	朝倉市役所健康課健康増進係 保健師 吉武 尚美 社会医療法人社団高野会 くるめ病院 看護部長 桑野 初子
11:10～11:20	休憩	
11:20～11:50	現在のネットワークの課題と方向性	久留米大学病院 高度救命救急センター 教授 山下 典雄
11:50～12:20	交流会： 現状の情報提供や今後に向けた意見交換	
12:20～12:30	閉講式	

下記に「ご所属」「お名前」「連絡先」をご記入の上、2月28日(木)までにFAX又はEmailにてお申込みください。

所属		お名前	
TEL		FAX	
E-mail		備考	

主催：久留米大学大学院医学研究科 感染症看護分野 CNS 養成・感染症看護分野国際実践

事務局／担当者名：久留米大学医学部看護学科 佐藤

TEL：0942-31-7714 FAX：0942-31-7715

E-mail：yuka0503@med.kurume-u.ac.jp

※本ワークショップは、平成30年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C) (課題番号17K12607)の助成を受けて実施しています